

研究機関名：熊本大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の person 費支出に係る
活用実績報告書（令和3年度）

1. 実施状況

事業名	直接経費から person 費を支出した所属 PI の人数（人）	所属する PI が直接経費から person 費を支出したことにより確保した経費の総額（円）
エイズ対策実用化研究事業	1	557,023
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業	1	1,856,745
革新的先端研究開発支援事業	2	1,971,260
肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究事業	1	1,591,096
肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業	1	1,060,731
橋渡し研究プログラム	1	350,000
再生医療実現拠点ネットワークプログラム（幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム）	1	1,500,000
再生医療実用化研究事業	1	1,440,000
新興・再興感染症研究基盤創生事業（海外拠点活用研究領域）	1	603,442
創薬基盤推進研究事業	1	1,238,037
難治性疾患実用化研究事業	1	1,238,037
脳とこころの研究推進プログラム（領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト）	1	900,000
合計	13	14,306,371

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額を、契約の確定時期に従い、半期毎のタイミングで、競争的研究費等獲得手当として支給した。

本手当の支給は、研究者自身の処遇改善へつながり、研究に対するモチベーション向上に寄与した。

研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額を、契約の確定時期に従い、四半期毎のタイミングで、自由裁量経費として配分した。

本自由裁量経費は執行目的に制限がなく、さらに、配分時の翌年度まで執行可能なため、研究者がより柔軟に経費執行することが可能となった。

※ 他の経費と一体的に活用することも可能です。その場合はどのような経費と併せて何の取組に活用したか分かるように記載してください。

※ 必要に応じて参考資料を添付してください。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei